

第二期データヘルス計画

◇ データヘルス計画とは

平成27年度から始まったデータヘルス計画は、平成30年度から第二期（6年間）がスタートいたしました。

データヘルス計画は、レセプト（診療報酬明細）や健診情報等のデータを分析・活用することにより、加入者の健康づくりや重症化予防等の保健事業を行うものです。全ての健康保険組合が取り組んでいます。

ワールド健保でも、健保が保有するデータを有効活用して、事業主とより効果的な保健事業を実施しています。

データヘルス計画	
第一期 (2015~2017)	第二期 (2018~2023)



データヘルス計画で目指すもの



◇ 第二期データヘルス計画の進め方

ワールド健康組合は「第二期データヘルス計画」がスタートするにあたり、「加入者の健康維持・増進のための知識の啓発」や「生活習慣病の重症化予防」、「医療費の適正化」について具体的な目標と実施計画を策定し進めております。



「第二期データヘルス計画」の主な内容

- **ポピュレーションアプローチを通じた健康意識・風土づくり**
 - ・血圧・血糖値が高い方々に個別情報の提供と医療機関への受診勧奨など
 - ・婦人科系疾患リスクがある女性の方に情報提供や電話などによる生活改善の指導を実施
- **特定健診・特定保健指導の推進**
 - ・就業時間内の特定保健指導の実施
 - ・家族の方へ健診の受診案内

◆ 現在のワールドグループの優先課題

1 婦人科系疾患

被保険者のうち女性が80%以上を占めることから、乳がんや周産期を中心とした医療費が高く、今後も増えることが予測されます。

2 精神神経系疾患

メンタル疾患を原因とする傷病手当金が増加傾向にあります。休職につながれば職場全体にも大きな負担がかかります。

3 ハイリスク系疾患

高血圧や脂質異常の方が増加傾向にあります。脳梗塞や心疾患といった重症化リスクが高くなると命の危険に関わることがあります。

◆ ワールドグループの取り組み（一例）

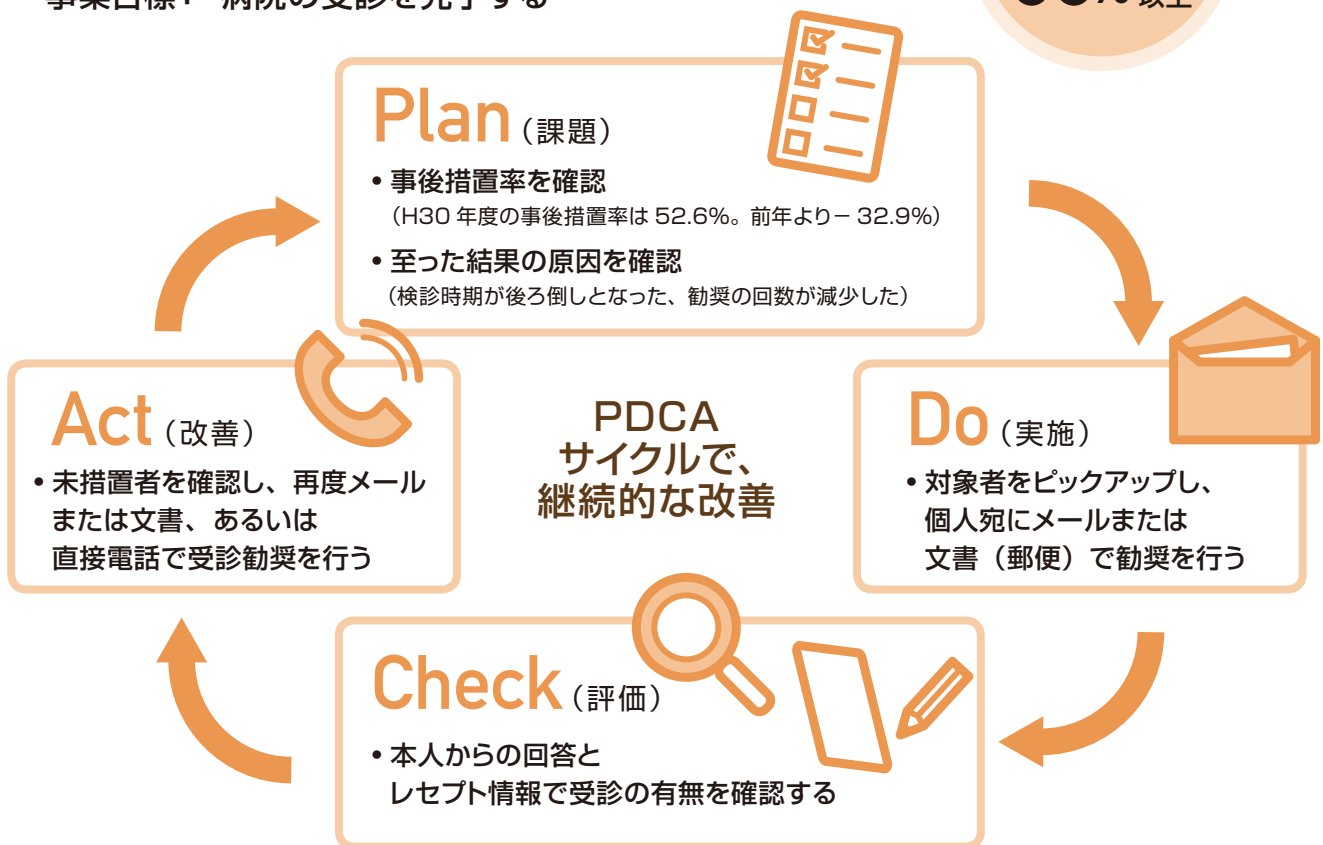
事業項目： 乳がん検診の事後措置勧奨事業

事業目標： 病院の受診を完了する

行動目標

事後措置率

90%以上



データヘルス計画は、ワールドグループ全体の健康度を高める為に策定し、取り組んでまいります。

社員・ご家族の皆様には、「健康を自己管理できる力」を高めていただけるよう、積極的に保健事業にご参加いただくこととあわせて、日頃から生活習慣の改善やセルフケアに努めてくださるようお願いいたします。

